

NEWS RELEASE

「グローバル環境先進企業」に向けた活動を推進し、第8次環境計画をほぼ達成
三菱電機グループ「環境報告2018」公開のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループ^{※1}の2017年度の環境経営の取り組み成果を「環境報告2018」として、三菱電機オフィシャルウェブサイトで本日公開します。

2015～2017年度の活動目標を定めた「第8次環境計画」では、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「自然共生社会の実現」「環境経営基盤の強化」を重点推進項目として掲げ、計画の最終年度である2017年度は、生産時CO₂の排出削減や、資源投入量の削減など各項目において、計画をほぼ達成しました。

三菱電機グループは、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとともに、「製品やサービスによる環境貢献」と「生産活動における環境負荷低減」を通じ、「グローバル環境先進企業」を目指します。

※1：三菱電機、国内関係会社107社および海外関係会社84社の合計192社が対象

「環境報告2018」（2017年度の環境経営の取り組み）掲載URL
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

2017年度の主な取り組みと成果

1. 低炭素社会の実現：製品生産時と使用時の両方で温室効果ガスの排出を低減

- (1) 生産時のCO₂総排出量（CO₂以外の温室効果ガスはCO₂重量換算）は、生産設備の更新や運用の見直しなどの各種削減施策により、2017年度目標の137万トンを下回り、前年度比7万トン減となる127万トンに抑制^{※2}
- ・ CO₂以外の温室効果ガスの排出量は、低温暖化係数冷媒への転換や海外でのガス回収率の向上などで、目標の22万トンを下回る19万トン（CO₂換算値^{※3}）に抑制
- ・ エネルギー起源CO₂の排出量は、生産設備や設備機器への投資、IoTを活用した生産効率の改善などにより、前年度を上回る2.4万トンを削減

- (2) 製品使用時のCO₂削減率は、情報通信や電子デバイス分野を中心に製品の省エネ化が進み、102の対象製品において、2017年度目標通り35%まで向上

※2：CO₂排出係数は第8次環境計画策定時の電気事業連合会2013年公表値「原発2基稼働時の0.487t-CO₂/MWh」を使用

※3：CO₂以外の温室効果ガスの温暖化係数はIPCC第二次評価報告書1995年公表値を使用

2. 循環型社会の形成：製品の小型・軽量化による資源投入量の削減

- ・ レーザー加工機、LED照明、光ネットワーク装置をはじめとした64製品群において、製品の小型・軽量化を進め、2000年度比で資源投入量の平均削減率40%を実現

3. 自然共生社会の実現：国内拠点の地域における生物多様性保全活動の拡大

- ・ 希少種・固有種の保全をはじめとする生物多様性保全活動の一環として国内すべての製作所（24拠点）で敷地内の生物調査、地域固有種の保護などを実施
- ・ 親子向け自然観察「みつびしでんき野外教室」と「里山保全プロジェクト」において、開催地区数の拡大と地域児童の参加数増加により、3年間累計で目標の10,000人を超える15,000人が参加

4. 環境経営基盤の強化：国内外91製造拠点の環境取り組みレベルの“見える化”で、環境管理レベルを向上

- ・ 国内外91製造拠点で共通のチェックシートを活用して「大気」「水質」「化学物質」「温暖化」「廃棄物」の5分野の改善活動を推進した結果、グループ各拠点の環境管理レベルが100点満点中、当社が99点、国内関係会社が93点、海外関係会社が96点となり、グループ全体の環境管理レベル向上を確認

今後の展開

三菱電機グループの環境活動は、SDGs（持続可能な開発目標）において、2030年までに達成すべき17の目標のうち、「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」や「13. 気候変動に具体的な対策を」など、6つの目標の達成に貢献します。

さらに、三菱電機グループは、「環境ビジョン2021」の達成に向けて第9次環境計画（2018～2020年度）を2018年4月に策定しました。今後とも、SDGsの達成に貢献する活動を推進するとともに、2030年、2050年を見据えた長期環境ビジョンの策定を進めていきます。

「第9次環境計画」掲載 URL : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2018/0424.html>

主な活動項目における目標と実績について

 …たいへんよくできました  …よくできました  …おしい  …もっとがんばりましょう

分類	主な活動項目		評価指標	第8次環境計画 (2017年度) 目標	2017年度 実績	評 価	
取り組み 低炭素社会実現に向けた	生産時のCO ₂ 排出削減		CO ₂ 換算排出量	137万トン	127万トン		
	製品使用時CO ₂ の排出削減		平均削減率 (2000年度比) (対象 107 製品群)	35%以上 (107 製品群)	35% (102 製品群)		
	省エネ性能向上による製品使用時CO ₂ 削減		削減貢献量 (対象 124 製品群)	9,200万トン	7,100万トン		
取り組み 循環型社会形成に向けた	資源有効活用		最終 処 分 率	当社	0.1%未満	0.001% 	
				国内 関係会社	0.1%未満	0.01% 	
				海外 関係会社	0.5%未満	0.59% 	
取り組み 自然共生社会実現に向けた	資源投入量の削減		平均削減率 (2000年度比) (対象 64 製品)	40%以上	40%		
	'みつびしでんき野外教室」「里山保全プロジェクト」の継続開催		3年間の 参加人数	3年間累計 10,000人	3年間累計 15,000人		
	グローバルでのe-learning実施による環境マインド醸成		140社の社員 受講率	100%	99.8%		
取り組み 環境経営基盤の強化	事業所の生物多様性保全構内生物調査		実施事業所数	全24事業所	全24事業所		
	統一基準による環境取り組みリスクの評価と海外工場のレベル向上		全 拠 点 評 点 平 均	当社	100点	99点 	
				国内 関係会社	90点	93点 	
				海外 関係会社	80点	96点 	